

## 岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 30 年 2 月 27 日改正  
(平成 30 年 4 月 1 日適用)

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

### ②施設・事業所情報

名称：大洞こども園	種別：保育所型認定こども園	
代表者氏名：上村 祐子	定員（利用人数）： 149 名	
所在地：岐阜市大洞桜台1丁目3番地		
TEL：058-243-2990	ホームページ： <a href="http://www.ohborahoikuen.jp/">http://www.ohborahoikuen.jp/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成16年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 宝和会		
職員数	常勤職員： 20 名 非常勤職員 13 名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士 24 名 栄養士 1 名	
	看護師 1 名 調理員 2 名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室 6室	遊戯室 1 給食室 1

### ③理念・基本方針（※転載）

#### 【基本理念】

乳幼児を保育・教育することを目的とし乳幼児の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進していきます。

#### 【保育方針】

家庭や地域社会と連携を図り、地域における子育て支援をおこなう。  
豊かな人間性をもった子を育成する。

### ④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- 水分補給を重視し、ハイドロピュア浄水器の設置により、子どもたちが自由に水分を補給できるようにしている。また、給湯器が設置され、座って飲めるよう椅子が用意されている。
- 勤労感謝の日には、子どもたちが地域の交番、消防署に花束を持ち、訪問している。
- 園庭には大型の遊具があり、また、体育教室では、専門の指導者による体力づくり（サッカー、縄跳び、跳び箱等）を行われている。

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成30年9月1日（契約日）～ 平成31年3月28日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	2回（平成24年度）

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

<自然環境に恵まれ、のびのびと保育活動ができています。>

当園は、大規模な団地群の中に位置し、里山へ散歩に出かけたり、近くの河川に架かるこののぼりを見に出かける等、恵まれた自然の中で、地域の人々との交流を通して豊かな感性や社会性を育てている。

<家庭や地域との連携を大切にしている。>

未就園児と保護者の子育てサポートを行う「みどりっ子クラブ」や地域の子どもたちや保護者の子育て支援として「子育て相談」「園庭開放」「図書貸出」を行う「元気子育てサロン」の実施を通して、家庭や地域との連携を深めるとともに、地域の子育てニーズに応じた支援に努めている。

<タブレットの活用等業務のIT化を推進している。>

登園・降園管理や延長保育、給食、職員の勤務等や家族への連絡、午睡時間、行事等についてもタブレットを活用している。子どもの様子が保護者のスマートフォンで把握できる等利便性を高めている。

### ◇改善を求められる点

<経営全体に渡る内容を盛り込んだ中・長期計画の策定に向けた取り組みに期待したい。>

中・長期計画については、教育・保育政策の変動期にある現在、園としての中・長期ビジョンを明確にしている。今後の制度動向や経営状況を踏まえ、経営全般に渡る中・長期計画の再構築を検討しているところであり、経営の方向性を明らかにした中・長期ビジョンは示されているが、経営全体に渡る内容を盛り込んだ詳細な計画までには至っていない。今後とも継続して、計画の充実化に向けた取り組みに期待したい。

<各種マニュアルの系統的な整理と充実化に向けた取り組みに期待したい。>

虐待対応・権利擁護マニュアルの整備等、各種マニュアルの系統的な整理と充実化に向けた取り組みに期待したい。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通して、保育のあり方や園の運営全般について見直すよい機会となりました。評価では、良い点や改善すべき点などにつきましてご指導をいただきました。今後改善すべき点については、継続的に改善に向けて全職員が共通理解をして、取

り組みをしていきます。評価の良かった点についても一層努力することで、今後多様化する地域の子育て支援ニーズに対応した保育の提供を、していきたいと考えています。

⑧**第三者評価結果**

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。